

主要項目	当直長 (当直副長)	操 作 員 (A)
4. CCS系S/P冷却	4. CCS系S/P冷却指示	5. CCS系2系列と共に、S/P冷却モード「手動起動」実施、報告 (1) LOCA信号(D/W圧力高)存在の場合、テストバイパス弁を開のため下記「リフト」 (A)系 PNL932 C1776 C (CC-7, 8, 9, 10) (B)系 PNL933 C1777 C (CC-7, 8, 9, 10)  6. CSポンプ (A~D)「手動起動 (確認)」原子炉減圧準備実施、報告
5. 原子炉減圧操作	5. 原子炉減圧指示	7. IC又はSRVにより、原子炉「減圧」実施、報告 (1) 原子炉冷却率を確認し、調整する。 a. ICの台数調整 b. IC出口弁(MO-1301-3A/3B)の開度調整 (2) S/P水温の上昇を均一にするため、なるべく離れたSRVを順次「手動開」 吹き出し順序 A→C→B→D (3) 原子炉水冷却率を確認し、間欠で行う  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         原子炉冷却材温度変化率 55℃/h以下                     </div> 8. 原子炉隔離状態確認、報告 (1) MSドレン隔離弁 (2) PLR炉水サンプリング隔離弁 (3) CUW吸込隔離弁 (4) AC系 (5) その他PCIS作動状況
6. LOCA信号A	6. LOCA信号復旧指示	9. LOCA信号 (D/W圧力高) がクリア確認、報告後、LOCA信号「リフト復旧」尚、IC「運転継続」実施、報告
7. IC停止	7. IC停止	10. 原子炉圧力1.04MPa以下になったらICを「手動停止」実施、報告 (1) CSが1台以上起動していることを確認 (2) IC「手動停止」実施  11. IC「手動停止」後、SRVにより更に原子炉減圧操作実施、報告  12. PCIS隔離信号 (内、外) リセット可能を確認、報告
8. 隔離信号リセット	8. PCIS隔離信号リセット指示	13. PCIS隔離信号 (内、外)「手動リセット」実施、報告

操 作 員 (B)	備 考
	ICによる流量制限は不可能である

主要項目	当直長 (当直副長)	操 作 員 (A)
9. 原子炉 冷温停止	9. SHC投入指示	14. 原子炉水温度「176℃以下」を確認し、SHC「インサースビス」実施、報告  <以下、ユニット操作手順書 第5章「通常停止」の項参照>